

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 1 月 29 日作成)

小委員会名	IT 対応建築生産システム構築研究小委員会	主 査 名：眞方山 美穂 就任年月：2004 年 9 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会(組積工事運営委員会)	委員長名：田中 享二 主 査 名：守 明子
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工業製品の組合せで躯体を構築するメーソンリーをモデルとした IT 対応型生産システムの構築</li> <li>・ (2003) 将来型の生産システムの想定, GDB および PDB の基本構想の検討</li> <li>・ (2004) 部品・部材等の製品情報が体系的に整理</li> <li>・ (2005) IT に対応した建築生産システムのイメージの提案および GDB・PDB の内容, 構造, 有効利用方法等の検討</li> <li>・ (2006) メーソンリーを対象とした生産支援ツールの具体化の検討</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無:	
	眞方山美穂(建研), 千歩修(北海道大学), 守明子(名古屋工業大学), 長谷川直司(文化庁), 石井克侑(太陽セメント), 高橋和雄(太陽セメント), 上之園隆志(建研), 三田紀行(職業能力開発総合大学校)	
設置 WG (WG 名: 目的)		
2006 年度予算	7,000 円	ホームページ公開の有無: 公開予定 委員会 HP アドレス:

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. メーソンリーを対象とした生産支援ツールとして、一般の消費者をターゲットとした住宅建築のための支援ツール(試作版)を作成した。今年度の目標は、ほぼ達成することができた。
委員会活動の問題点・課題	

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。